

入庁1年目職員対談

国税庁を志したきっかけ・決め手はなんですか？

(天野)元々国家公務員になりたいと考えており、高校や大学で簿記や租税法について勉強していたため、自分のスキルが生かせるのではないかと考えたことが大きな理由です。また、官庁訪問の際に、面接官の方々と円滑なコミュニケーションが取れ、ここでなら働いていけると感じられたことが挙げられます。

(齋藤)私は当初、国税専門官を志望していました。志望理由は、大学で会計を勉強していたこともあり、専門知識を駆使して働く仕事に憧れたからです。そんな中、総合職を目指した決め手は、官庁訪問です。職員の方々とお話しする過程で、税というひとつの軸を持ちながら、多様なフィールドで様々な経験ができる総合職の仕事に惹かれました。

(林)国税庁総合職(事務系)の職種を志したのは、大学院在学中に租税法を履修していたことがきっかけです。教授が国税組織のOBであったため、税法を仕事にすることの面白さについて実体験を踏まえて教えてくださいました。官庁訪問では、はじめて現職の国税庁職員の方とお話ししましたが、個性的な方が多く、多様なバックグラウンドを持った方々と業務にあたることができると思い、国税庁に決めました。

います。私が所属する企画課企画係では、主税局に申し入れる意見の取りまとめを担当しており、より適正・円滑な租税制度の実現に向けて日々邁進しています。

(天野)現在は国際業務課・国際業務係に所属し、OECD租税委員会の各種会合への参加及び議事録の作成を担当しています。また、OECDより行われる各種サーベイ(各国税務行政の現状に対するアンケート調査)への回答取りまとめ作業に携わっています。

職場の雰囲気はいかがですか？

(齋藤)非常に良好です。職場の上司や先輩方は、1年目職員で知識・経験の足りない私のことを慮って、基礎的な事柄から非常に丁寧に教えてくださいました。「〇年後、〇〇さんのようにになりたい!」と思える上司や先輩方がたくさんいます。雰囲気の良さは、官庁訪問でも実感していただけだと思います。

(天野)とても良い雰囲気です。上司とは仕事以外の話をさせていただく機会も多く、非常に円滑なコミュニケーションが取れています。また、過度なコミュニケーションは強要されないため、居心地がとても良いです。また、困ったときは親身に相談に乗ってくれ、的確なアドバイスをくださるので非常に心強いです。

(林)私が所属する課室は、1つの大部屋に50名ほどが在席しています。一丸となって集中して取り組む際には、静かな時もありますが、基本的には賑やかな雰囲気です。どの職員の方も話しかけやすく、また、話しかけてくれる明るい雰囲気があり、メリハリをつけながら、多くの同僚と毎日楽しく過ごしております。

現在どのような業務に携わっていますか？

(林)私の所属する酒類業振興・輸出促進室では、課室名のとおり、酒類業の健全な発達に向けて、様々な施策を実施しています。国税庁では「酒類業」を所管しており、酒税の歳入官庁である一方で、酒類業振興関係予算のもと、酒類業振興輸出拡大に向けた取組を実施しています。酒類業振興・輸出促進第1係では、まさに「酒類業振興関係予算」の折衝を行っています。他には、日本産酒類の輸出動向について、国別・品目別にとりまとめを行い、HP上に公表しています。ぜひ確認してみてください!

(齋藤)国税庁は毎年、執行官庁としての観点から実務上の課題を検討し、租税制度の改善すべき事項について、財務省主税局に申入れを行って

国税庁 国際業務課
国際業務係

天野 光哉

国税庁 企画課
企画係

齋藤 聖也

国税庁
酒類業振興・輸出促進室
輸出促進第一係

林志帆

最後に、学生の皆さんへ メッセージをお願いします!

(天野)就活の時期は心身ともに不安定になるかと思いますが、自分もそうでした。たまには美味しいものを食べたり好きなことをしたりして息抜きしましょう!そして、皆様の悔いのない選択の先に、国税庁でともに働ける日々を心待ちにしております。

(齋藤)私が国税庁の官庁訪問に参加した当時、職員の方々が一学生に過ぎない私の話を非常に丁寧に聞いてくださったことを今でも鮮明に覚えています。とても素敵な職場ですので、国税庁に少しでも興味がある方は、ぜひ官庁訪問に足を運んでください!

(林)多様な職種がある中で、職業選択の一つの検討材料として、国税庁総合職の採用パンフレットをご覧くださいありがとうございます。私は、この組織にまだ1年しか在籍しておりませんが、国税庁を選択したことに後悔はありません。今後の進路選択や試験勉強等の不安を抱えている方も多いかもしれませんが、ぜひ理想の職種にチャレンジしてみてください。その先が国税庁であれば嬉しく思います!

一日のスケジュール

09:30

»

10:00

»

12:15

13:00

»

15:00

»

18:00



登庁

通勤中は、ニュースを見たり音楽を聴いたりしていることが多いです。

執務室にてメールチェック

昨夜のうちにOECD事務局より届いたメールのチェックから始まります。次の会合案内やサーベイの依頼等重要な連絡が届いたらすぐに上司に報告し、対処方針を検討します。

昼休み

昼食はいつも同期と一緒に食べています。3階にある食堂か地下にあるレストランをよく利用しています。食堂は安くおいしいですし、地下のレストランはサラダバーがついているので健康的です。



出張ロジ作業

国際業務課ではほぼ毎月のように海外出張案件があります。そのためフライトの手配や出張決裁書類の作成等出張ロジに係る業務を日々こなしています。

各種サーベイ対応

OECD租税委員会事務局から定期的に各国の税務行政の現状を調べるためのアンケート調査が行われます。国際業務課は取りまとめの課となっているため、回答素案の作成を行い関係各課に確認依頼をし、事務局へ提出しています。

国際会議への参加

OECDや各国税務当局と意見交換を行います。時差の都合上夜間に対応することが多くなってしまうのが難点ですが、手当はしっかりついていますし、翌日の出勤時間を遅らせることも可能なのであまり苦ではありません。国際会議のない日は定時退庁し、余暇を満喫しています。

